

【睦合南地区】令和6年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時:令和6年7月11日(木) 午後6時～午後7時
 会 場:睦合南公民館 2階集会室
 参加者:地区の自治会長(12名)、公民館地区館長、
 市長、副市長、教育長、企画部長、企画部次長、総合計画担当課長、公民館・地区市民センター長

自治会長からの意見	市長等からの回答
意見1 自治会員の減少と負担増加について	
【妻田第一自治会】 ■自治会の会員の減少、脱会、これが非常に目立っています。昨年は自治会の加入率が60%を切っている状況があったと思います。防災関係と防犯管理については自治会として皆さんよく動いています。自治会の会費の中から防災の器具や食物、水等を備えています。天変地異というのは必ず来るのではないかと考えています。その時に、この蓄えているものを使うことは非常に良いことだと思いますが、自治会に入っていない方から「私もください」と言われたら、「あなたは自治会に入っていないからあげられません」と言う自治会長はいません。人の命が一番大切ですので、生き延びることを優先します。 できることであれば、市の受付のところで、賃貸のマンションや借家、持ち家であれ、引っ越して来られる方がいらっしゃったら、自治会に入会してください、自治会は防犯防災で大きな役割を担っています、というところを市でも熱弁していただきたいです。	■お話をいただいた自治会加入の案内については、今、自治会加入促進の取組の一つとして、転入手続の際や市民課の窓口などでも配付をしているところですが、チラシで自治会に加入してくださいと訴えるだけでなく、自治会に入りたいと思っただけのフレーズ等も考えて創意工夫をしていきたいと思っています。 自治会に入り、顔の見える関係をつくっておくことが災害時に大切になってきますので、こういったことを入会されていない方々に発信できればと思っています。 他の自治会等でも、無償でイベントに呼んで、子どもが参加することで親も参加し、地域で行うイベントの楽しさを感じていただきながら顔のつながりをつくって、何件か自治会の加入につながるというケースもあります。皆様も今までアイデアを出しながら取り組んでいただいているところですが、そういった取組も自治会加入の促進につながっていくのではないかと考えています。 (担当課:危機管理課、市民協働推進課)
意見2 自治会員の減少と負担増加について	
【市場自治会】 ■最近、自治会の加入数が減っていることが悩みの種です。地域の子どものうち、半分以上は自治会に加入されていない世帯だと思いますが、子どもたちに対しては、自治会として見守り活動や青バト、盆踊り、祭りも分け隔てなくいろいろなものを提供しています。それが楽しみの一つでもあります。そういうものに使っている予算は、基本的には自治会費です。市の方からも補助金をいただいています。子どもたちの半分以上が自治会員の子どもではないということになると、自治会の負担が相当増えてきます。その辺のところは支援していただくと助かります。 自治会活動をしている上で、子どもたちが厚木市の未来をつくるのに非常に大切な存在だと思っています。子どもたちをこれから育てていく意味でも、自治会活動の中で市のいろいろな支援をいただきたいです。	■高齢化社会がこれから進展するに当たって、やはり担い手不足というのはどの自治会においても顕著です。役員の皆様の負担軽減に向けて、全庁をあげて取り組み、皆様の負担を少しずつ減らすとともに、生涯現役であるという社会でもありますので、働きながら役員をやっていたり、デジタル化や、電子回覧板の試験導入などの新たな手法を取り入れながら、より一層、皆様の負担軽減を前に進めていきます。 こどもタウンニュース自治会特集号を自治会の皆様とともに発行し、自治会活動の周知の中で多くの皆様に御理解をいただける、そんな取組を皆様とともに引き続き行っていくながら、加入率を少しでも上げていく取組を進めてまいります。 (担当課:市民協働推進課)
意見3 桜並木の管理について	
【三家南自治会】 ■三家南自治会には、市道D-41号線に沿った全長460メートルの直線の桜並木の遊歩道があります。ここは児童の通学路や地域の皆さんのウォーキングの遊歩道として利用されているところで、高齢者の方の外出の機会にもつながっている場所です。近隣の方々には桜の花びらや落ち葉が散るなど大変なこともあります。是非未来に残したいと思っています。 その桜も古木化が進んでいて、落下の恐れのある幹や枝については、公民館を通じて市の道路所管課で剪定をしていただいている現状ですが、歩行者の安全を考えて植え替えを希望します。財政負担を考慮しながら順次段階的に伐採、植栽をしながら悪い木を取り除いていくというようなことを年間5本を目途にするなど、対応ができるのかお聞かせください。	■私もこの市道D-41号線の桜並木は十分存じており、今年の桜のシーズンにおいては、市内の桜の名所を全部回らせていただいて、桜を堪能するとともに、老木化した状況も見させていただいたところです。 今、市内で桜の古木化が進んでいる状況下にありますので、桜の樹木診断を実施しています。この41号線においても、樹木診断をしながら、伐採した方が良いのか、まだ剪定で良いのかなど、皆様の声もいただきながら、取り組んでまいります。今後も、桜並木を維持していくに当たり、多くの皆様の心の潤いをつくっていくためにも、植え替えについても前向きに検討してまいります。 (担当課:道路維持課)
意見4 未来の厚木に期待することについて	
【妻田中央自治会】 ■中町第2-2地区の複合施設の建設が始まっていますが、北口の開発やこれから厚木の目玉となるようなところが気になっています。 自分の考えですが、現庁舎の跡地の問題が出てくると思いますが、庁舎はそのままで結構ですし、その土地を使っても結構ですが、厚木中央公園にドームをかけていただいて、全天候型の多目的スポーツ広場ができれば、厚木に行きたいという方が増えると思っています。できるかどうか、お金の問題ですので大変だと思います。 今手がけ始めている新庁舎の複合施設等々の開発計画、またどのくらいの進捗状況なのかを詳しくお聞かせください。	■複合施設整備や本厚木駅北口の生まれ変わり、庁舎跡地は、一つ一つを点ではなく面として捉え、新たな中心市街地の魅力再開発として計画をしているところです。大きいプロジェクトですので、100年に一度の契機と捉えて進めております。 中町第2-2地区の複合施設は、9月に本体の建設が着工し、計画どおりにいけば、令和9年度より供用開始となります。本厚木駅北口は、地権者等の組合の皆様と連携しながら、どういう北口の生まれ変わりを望んでいくのか、そして、皆様が利用しやすい魅力ある本厚木駅をどうつくっていくか準備組合の皆様とともに意見を出し合っているところです。イメージ等が皆様にお披露目できる状況になりましたらお話をさせていただきます。 また、現庁舎跡地も厚木のシンボルタワーとして、大きな魅力をそこに作ることで、北口の生まれ変わりにもつながりますし、多くの方々が現庁舎跡地に来ていただくことによって、いろいろなにぎわいが生まれてくると思っています。先日も本庁舎跡地検討委員会の皆様から、スポーツを初めとする文化芸術等々も含めた施設をどうかといった御提言もいただいたところです。市民の皆様方が誇りに思っただけ、そして厚木だからこそできる施設を庁舎跡地につくりながら、より一層、市民の皆様が誇りに思っただけの取組を進めてまいります。 (担当課:行政経営課、市街地整備課)